



岡田紅陽写真美術館 富士山の日 特別企画展

池谷俊一 @ 乱妄夢典

IKETANI SHUNICHI
—The Modern
Photography
Theory
Exhibition—

《不盡山と生きる》

2025/2/19 wed. — 3/27 Thu.

会場：岡田紅陽写真美術館 企画展示ホール
開館時間：午前10時から午後5時（最終4時半まで）
休館日：火曜日、3月21日（金）は祝日の翌日休館
主催：岡田紅陽写真美術館（忍野村教育委員会）
後援：山梨県、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨

観覧無料（常設展を除く）

2/23（日）富士山の日（天皇誕生日）は全館無料

モノクローム
暗室多角

心眼抽象

肉眼記録

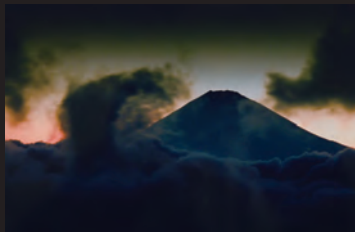
岡田紅陽写真美術館 富士山の日 特別企画展

池谷俊一@乱妥夢典

肉眼記録 × 心眼抽象 = モノクローム暗室多角

2025/2/19 wed. — 3/27 Thu.

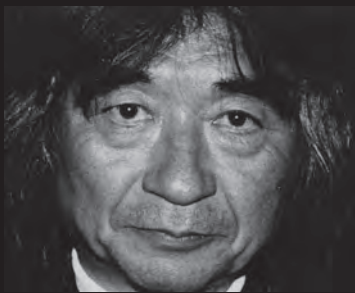
写真家の私にとって、写真存在最前線は強烈な多様化に突入していて、文明力の濃薄一色にさえ見える。免許証パスポート。其の写真絶対性を中心軸に、最早シャシンの実態が焦燥化。カメラさえスマホの一部に飲み込まれ、街町村の名門写真館は半減の様相。FSCからDSC。時代激変は当然の如く写真界も大波に流されながら、少しずつ新写真界に定着した。故にプロ写真家群は、微妙な社会との関係性を持参することとなる。写真雑誌廃刊。新聞さえメディアの主役から去り、ビデオ撮影の動画が人々の情報の日々を支える。高級一眼静止カメラは、動画像さえも高踏的質を有し、コマーシャル界さえ成立させられる。静止画なる写真存在は、徹した必要限定と共に跳きながら成立。故にカメラ文明と作品文化のネオリアリズムを直視したい。写真家群像の実態は、ある者は静止写真を諦め動画映像。ある者は生命線の暗室を閉じ、ある者は写真界から去っていった。写真誕生から200年の今、生成の煌めきと産出した偉大な先人写真家達。其の律動と、円環的社会性は、一瞬間の「決定的瞬間」を命題に向き合いつづけた。それからの写真史は、人生の胚芽する写真家の叫びと共に、静止画の歴史と拘わって誠実だった。私は先人写真家を尊敬し、静止の意味を徹して学んできた。しかし現代のネオリアリズムは、動画のヒトコマで決定的写真さえ自在。文明力の物理状況は、最早記録面でFILM時代を超えている。今回典は、次世代への写真の在り方への誘掖。記録だけで食べていける程写真の評価は、残念ながらもすでにない。写真が他の表現媒体と混じりつつ、生き残る方位への着眼。画家には写実具象形象抽象多視考。音楽ではrock・rap・classic・jazz・民謡等多面あり。写真も写実という記録的肉眼。一方で中空心眼の抽象。多角的印画紙時代は、奇抜でなく当然。写真の二次元は、今や美術と無関係の領域ではない事実。今回は顔ドキュメントの私が、次世代への視覚漂浮による個美の徹底作典。暗室という写真家の才能の見せ所。抽象美という感性の浩瀚度。私は写真家が、画家同様に一点作しか世に出さぬ方法を考えてもよい時代に来ていると思う。従来のパターンの習癖展と、今日的多角展の二つの写法展、この私典が次世代写真家にとって一つのヒントになるはずである。新たなる地平発見も激変する時代推移への知道と考える。(池谷俊一)



不盡山箱根写



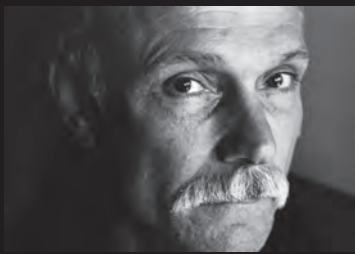
陰翳礼讃



小澤征爾



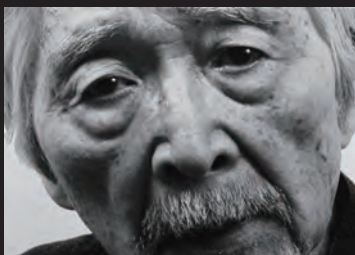
秋山庄太郎



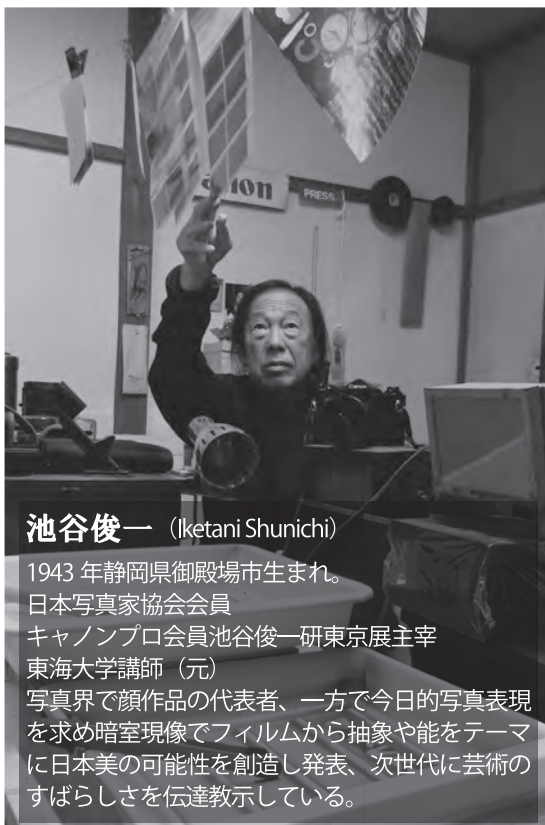
イギリスの詩人



谷崎松子



山田洋次



池谷俊一 (Ikutani Shunichi)

1943年静岡県御殿場市生まれ。
日本写真家協会会員
キャンプロ会員池谷俊一研東京展主宰
東海大学講師(元)
写真界で顔作品の代表者、一方で今日的写真表現を求め暗室現像でフィルムから抽象や能をテーマに日本美の可能性を創造し発表、次世代に芸術のすばらしさを伝達教示している。

岡田紅陽写真美術館

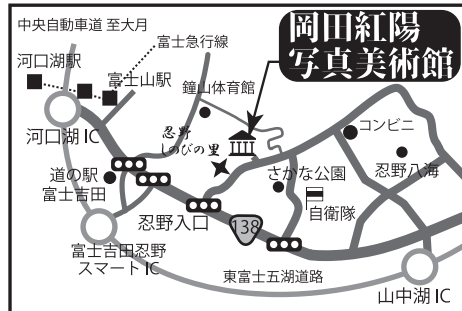
(小池邦夫絵手紙美術館併設)

午前10時～午後5時(4時半最終)

〒401-0511 山梨県南都留郡忍野村忍草 2838-1

TEL. 0555-84-3222 FAX. 0555-84-3320

<https://oshino-artmuseum.com>



- 電車・路線バス：JR 大月駅から富士急行線「富士山駅」下車、内野行きまたは平野行きバスにて12分「忍野しのびの里」下車。
- 高速バス：バスタ新宿より忍野経由・山中湖行き「忍野しのびの里」下車、または山中湖・平野行き「忍野入口」下車徒歩15分。
- 自動車：東富士五湖道路「富士吉田忍野スマートIC」より5分または「山中湖IC」より10分。中央高速道「河口湖IC」より15分。